

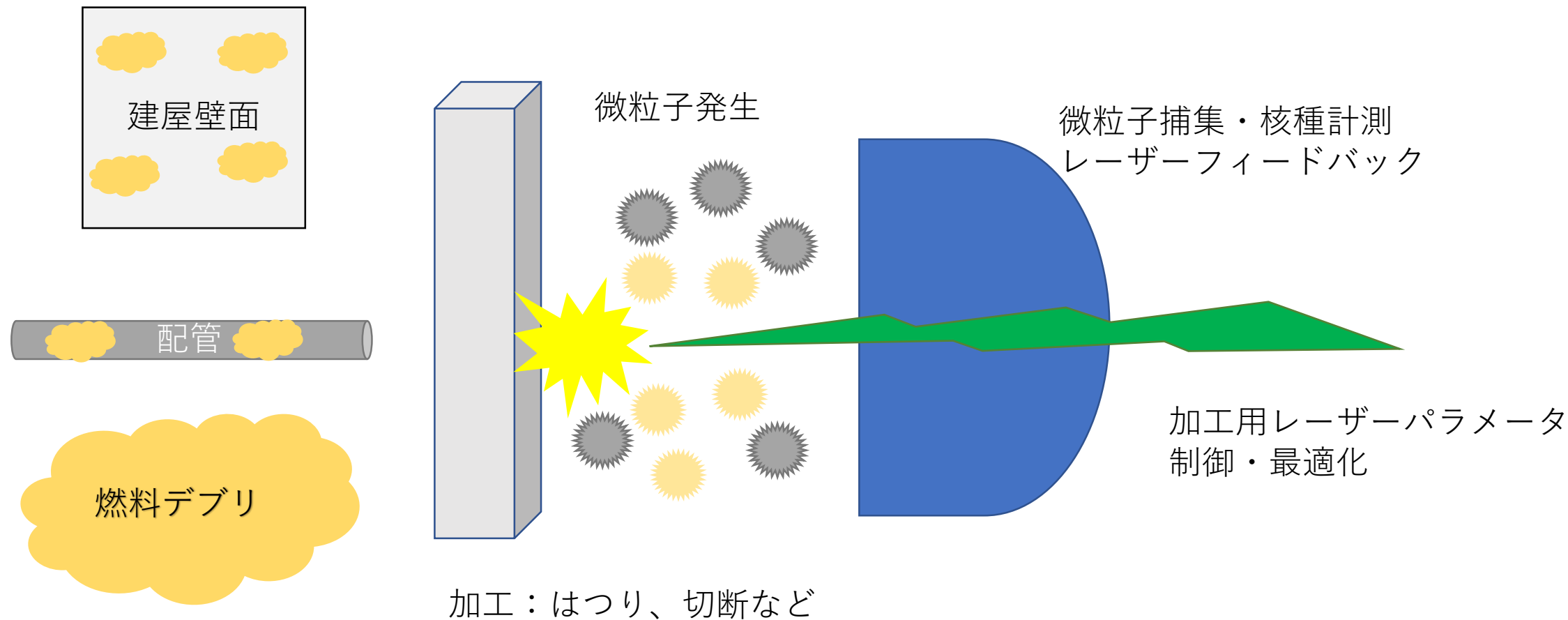
課題名：レーザー加工により発生する微粒子の解析と核種同定手法の開発

研究代表者：長谷川秀一（東京大学）

【研究概要】

レーザー加工は様々な長所を有するが、利用に際して多量の微粒子が発生することが知られており、放射性物質で汚染されている廃炉廃棄物に対する適用が躊躇されているが、その発生メカニズムは不明な点が多い。そこで、本研究は、その微粒子発生を基礎に立ち戻って検討するとともに、エアロダイナミックレンズを用いて微粒子を捕集することで粒径分布を測定し、さらに微粒子を構成する核種をレーザーによりオンラインで計測するための原理装置を開発する。

研究成果の 1F実機適用/社会実装イメージ



加工レーザー照射対象例